

渡邊 昌良

大学とは広くいろんなことを経験したり感じることができる場所ですが、やはり“学び”が充実してこそ様々な活動も楽しめるのだと思います。大学の授業内容は、高校までの基礎をもとに研究開発の最前線に向かって一気に進んでいきます。ペースはとても早くて、内容も難しいと感じる箇所が多いです。その結果、授業や勉強でのちもやもや感や置いてきぼり経験することが少なくないと思います。

大学の学びは目的意識や主体性を持って取り組むことを前提に作られているのですが…。でも、それがなかなか容易ではない、何かに熱中したいけど見つからない。理工系の科目は一步一步の積み重ねで学ぶことが必須な学問と言われます。重要なことは日々の努力…。分かっているけどこれまたなかなか容易ではない…。数学と物理、面白そうだけど理解に苦労している…。

本学に入学した皆さんは、これまでに科学や技術の分野で面白いと思ったり感動した経験を、きっといくつか持っていると思います。やってみたい分野を具体的に意識している人もいると思います。でも、もしかすると、それは学問の入口か技術の出口を眺めただけに過ぎないかもしれません。日々進歩する学問や技術の世界は、実はもっと奥が深く幅が広くて可能性と魅力に満ちています。そんなことを知るのも大学です。

皆さん、日々の学修や進路で悩んだら遠慮なく相談に来てください。何をしたいのか、何が面白いのか、そして憧れや夢について等々。皆さんには自分がまだ気がついていない潜在能力が沢山あります。大学生活とは、ときどきは立ち止まって考えてみる、そんな時間がとても大切です。つまりいたら一緒に考えましょう。細かなことでもOK、皆さんと話せる機会を待っています。